

## 活動報告書

園名	大丸ゆうし保育園
活動日時	2025年3月3日
クラス名(年齢)	ぶどう組(5歳児)
年間テーマ	おまけ

### 1. 活動のテーマ

<テーマ>

どうやったら上手く転がるかな①

<テーマの設定理由(子どもの姿)>

以前から井形ブロックでロボットのオーツを作り自分に装着させている姿や、工夫しながらビー玉転がしを作っている姿が見られ、試行錯誤しながら生み出す力をより引き出したいと思い環境を整えた。

### 2. 活動スケジュール

- ・室内遊びで設定
- ・井形ブロックとローリングキューブを組み合わせてコースを作っていく。
- ・完成したコースでボールを転がしていく。

### 3. 活動のために準備した素材や道具、環境設定

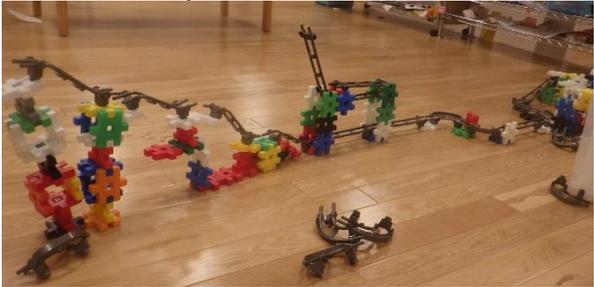
- ・ローリングキューブ
- ・井形ブロック

### 4. 探究活動の実践

<活動の内容>

- ・室内で行う。
- ・井形ブロックとローリングキューブを友達と一緒に組み合わせて工夫しながらコースを作る。
- ・完成したコースにボールを転がし、再度コースを組み替えて調整を行う。

<活動中の子どもの姿・声、子ども同士や保育者との関わり>

子どもの言葉・姿	写真
<ul style="list-style-type: none"> <li>•「これどうやってやるんだろう」と初めてレールをみると並べてみたりセロハンテープでつけてみたりしていました。</li> <li>•「ぶろっくにくっつけるといいかもしれない」と一人の子が発見すると、「やってみようよ」とみんなで試すことに。最初は井型ブロックを平たくしてその上にレールをしき「あれ？ころがらない」と上手くいきませんでした。</li> <li>•他の子が「たかさがあったほうがいいのかも」と呟き、長方形のブロックを持ってきて試してみることに。「うまくころがった」と上手いかなかった事から工夫とアイデアを出しながら成功させていました。</li> <li>•すると、「ここもこうしたい」「こうしたらどうなるかな」等溢れてきていました。</li> </ul>	  
	

5. 振り返り <振り返りによって得た保育者の気づき>

初めて使う物でも「こうかもしれない」「こうしたらいいのかも」等、色々な工夫をする姿が多く見られ、上手いかなくても友達と一緒にいることで「こうしたらどうかな」とアイデアが生まれ、長いコースが完成していた。自分で考え工夫しながら頭の中のイメージを形にして、何度も作っては転がし作り変えてを繰り返し行って行く中で、創造力が育まれていた。回数を重ねていくごとに上手くコースを作れるようになり、友達同士教え合っている姿も見られたので、今後も取り入れていきたいと思う。